

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

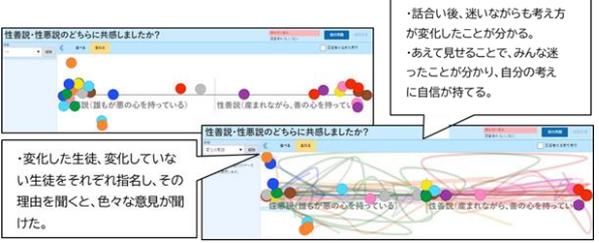
学習支援ソフト, Teams, AIの活用で、道徳の授業をするのが楽しくなる

AIによって、見落としてた角度の意見に気づける

- ① Teams「Forms機能」について  
→導入のアンケートとして、よく使っている。
- 全員の答えがすぐに戻ってくる。興味津々。
  - 自分で集計しなくてよい。
  - 普段、発表しない生徒の意見も分かる。
  - アンケート結果に突っ込みを入れて、本時のテーマに入る。

- × 思わぬトラブルで、時間がかかる。
- × 事前準備なし → 臨機応変に対応しないと…。

- ② 学習支援ソフトの機能について  
→全員の心情、立場を知りたいときに使う。
- 全員の答えがすぐに戻ってくる。興味津々。
  - あいまいな表現も可能。
  - クラスの雰囲気分かる。
  - 普段、発表しない生徒の意見も分かる。
  - 生徒の指名がしやすい。
  - 再実施 → 考えの変更が可視化される。
  - グラフを自分で設定できる。



道徳の授業

資料名「人って、本当は？」  
D-（22）よりよく生きる喜び（2年）  
人の本性は善か悪か？

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
Teams(Forms)によるアンケートを行う。	みんな優しい気持ちで過ごしていると思う。 自分にも、ずるい所があるかもしれない。	正直な気持ちで答えるよう助言する。
導入 アンケート結果を見る。	友だちの意見や自分の意見と異なる場面を例示する。 「人って、本当は？」という言葉を取り上げる。	
展開 2「人って、本当は？」を読んで考える。 (1) 性善説、性悪説のどちらに共感するか、ポジションングで表す。 (2) 人の心はどちらの心を持っているか、班で話し合う。 (3) 話し合い後、もう一度ポジションングで自分の意見を表す。	私は性善説に近い。 私は性悪説に近い。 他の人はどうだろう。 自分の考えを伝えたい。 そんな考えもあるんだな。	短時間で終わらせる。 話し合いの様子を見て、どちらかに決めなくてもよいことを、机間指導で伝える。 ポジションングの移動の跡を可視化する。 あらかじめ、質問することを決めておく。
終末 4 今日学習を振り返り、自分の生き方について考え、ワークシートに記入する。	AIには心が存在しないのか。 よりよく生きようとする心を大切にしたい。 私も、どちらの心も持っている。	人間は人間だから、善い心も悪い心もあり、よりよく生きようとする。

共有

共有

AI

- ③ 生成AI「Bing」について（※現在は、copilot？）  
→使い方は模索中…。
- 模範的な回答が返ってくる。（ことが多い）
  - 抽象的ではない。
  - いろいろな角度の提案をしてくれる。

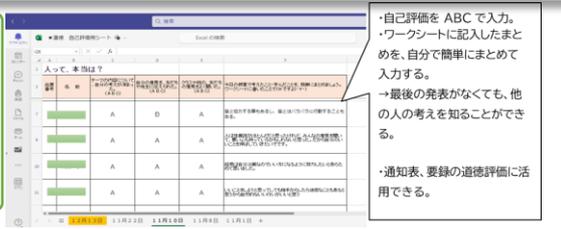
- × AI自身が学習していくので、事前準備とは違う返答になる。
- × 質問の仕方が難しい。
- × 仕様の変更、アップデートが頻繁か？



- ④ Teams「共有 Excel」について  
→毎時間の振り返りに活用。
- 全員の自己評価と感想が分かる。（生徒も）
  - データとして残る。→所見に利用。
  - 書けない生徒の補助。

- × 感想が、ワークシートと二重になる。
- × 最後の時間が少し長くなる。
- × 他の生徒のマネをしていないか…。不安。

振り返り



- ★ICTを使った道徳を実践してみても
- 授業をするのが楽しくなった。
  - 生徒の反応がよい。
  - 全員の意見がすぐ分かる。
  - 準備に時間をかからなくなった。

ICT活用で、全員参加の道徳に